読んでいただきたい

大切なお知らせ



シスプラチンとは

シスプラチンは1970年代に開発された白金（プラチナ）を含む抗がん剤で、世界で初めて患者さんに使われた白金製剤です。

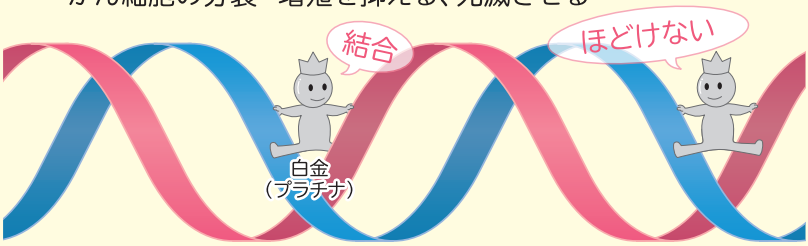
シスプラチンはがん細胞の遺伝子（DNA）と結合して、抗腫瘍効果を発揮します。単剤または他の抗がん剤や治療法と併用して使用されます。

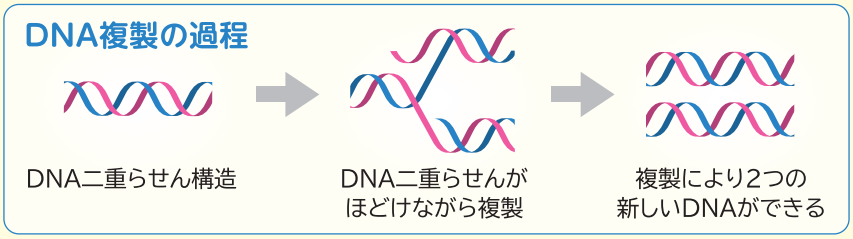
30年以上前に開発されたお薬ですが、今でもいろいろながん治療で使用され、その多くの固形がんで「標準治療」※に含まれています。

この冊子はシスプラチン注による治療を正しく安全に受けて頂くために作成しました。これからシスプラチンによる治療を受けられる皆さまに少しでも役立てて頂ければ幸いです。

白金製剤によってDNAの複製ができない

シスプラチンががん細胞のDNAと結合
がん細胞の分裂・増殖を抑える、死滅させる





イラストはイメージです。

※「標準治療」とは、多くの臨床試験の結果にもとづいて、第一に推奨される治療のことです。

シスプラチンはどうやって使うの？

シスプラチンは静脈から点滴される注射剤です。お薬の投与量は下記の図のようにしていろいろな要因を加味して決まります。点滴のスケジュールは、がんの種類で決まりますが、概ね3週間、または4週間毎に1回点滴されます。このとき他の抗がん剤と併用することもあります。

また、点滴も入院する場合と外来で治療を受ける場合があります。入院・外来のどちらで治療するかは、併用する他の抗がん剤との治療スケジュールや患者さんの全身状態、通院できる環境であるかなどをもとに判断します。

詳しいスケジュールについてはあらかじめ医療スタッフ（医師、薬剤師、看護師）から説明を受けてください。

投与の量は？

体重 × 身長 ＝ 体表面積 × がんの種類 × 年齢・全身状態 × これまでの治療の副作用の程度 × **腎**・肺・肝などの機能

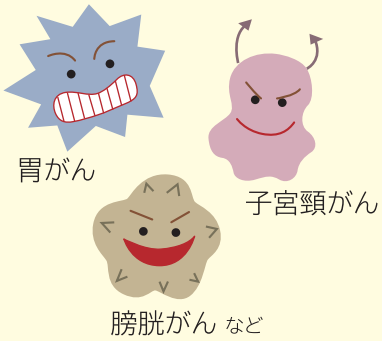
を考慮して決める



治療スケジュール

シスプラチンを含む化学療法の治療スケジュールは、次の4項目に合わせて決められます。

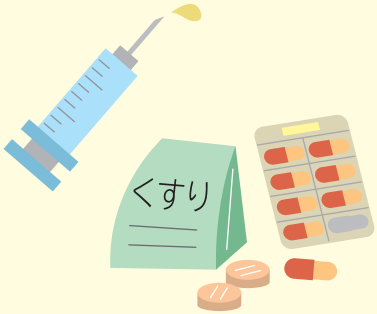
1.がんの種類



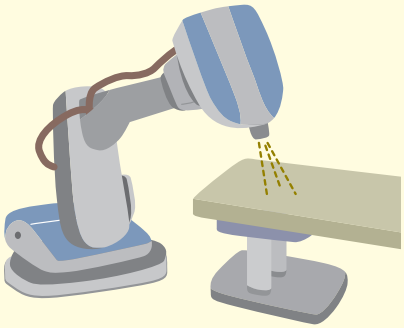
2.患者さんの状態



3.併用する他の抗がん剤の種類



4.併用する他の治療法



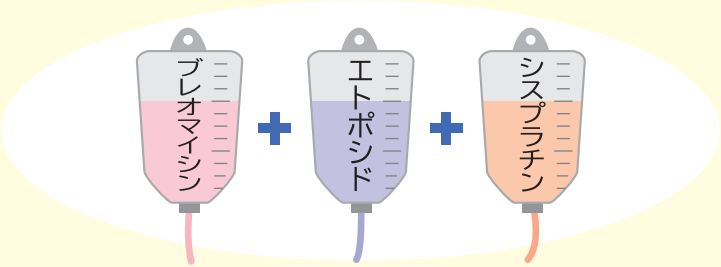
※本冊子に示す投与スケジュールは参考例です。他のお薬が投与される場合や患者さんの状態によってスケジュールが変更になる場合があります。

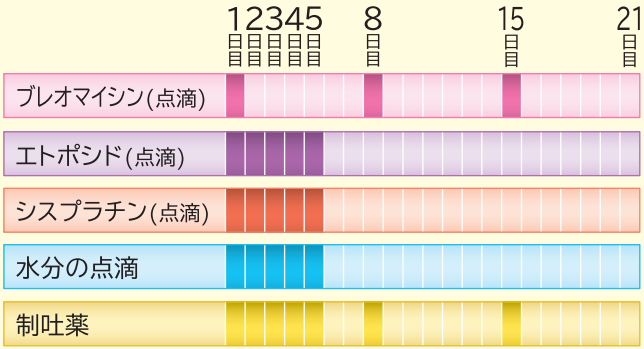
治療スケジュール

シスプラチンを含む代表的な治療スケジュールを紹介します。

■BEP療法

精巣腫瘍、性腺外胚細胞腫瘍において標準的な治療法として位置づけられています。





点滴投与時間

ブレオマイシン（B）…… 腕の静脈から、ゆっくりと静脈注射します。
エトポシド（E）…… 腕の静脈から、約30分かけて点滴します。
シスプラチン（P）…… 腕の静脈から、約2時間かけて点滴します。

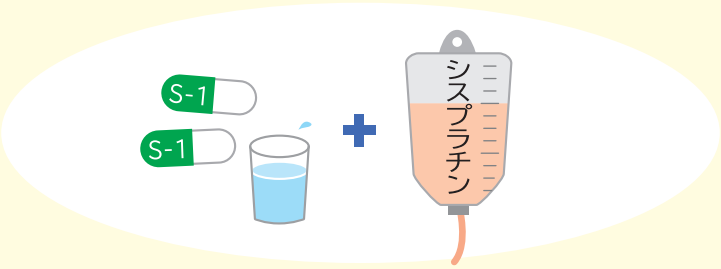
スケジュール

21日を1コースとして、2コース目からこの投与方法を繰り返します。

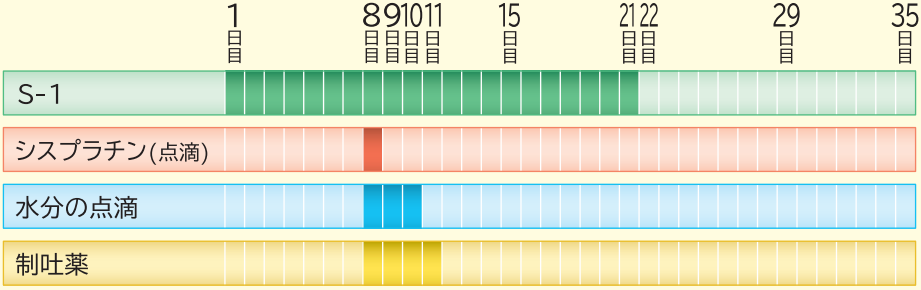
治療スケジュール

■SP療法

お薬が飲める胃がん患者さんに対する日本国内における標準的な治療法の一つです。



S-1：テガフール、ギメラシル、オテラシルカリウムの合剤



※シスプラチンと水分の点滴と制吐薬を1日目から投与する場合もあります。

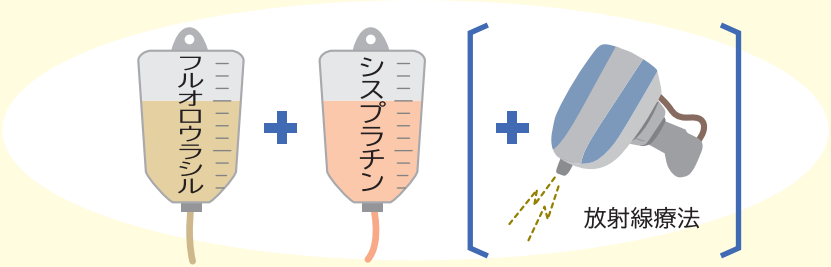
点滴投与時間 S-1‥‥1日2回、朝食後と夕食後にそれぞれ食後30分をめやすに飲みます。
シスプラチン（CDDP）‥ 腕の静脈から、約2時間かけて点滴します。
腎臓の動きを維持するために十分量の補液をします。

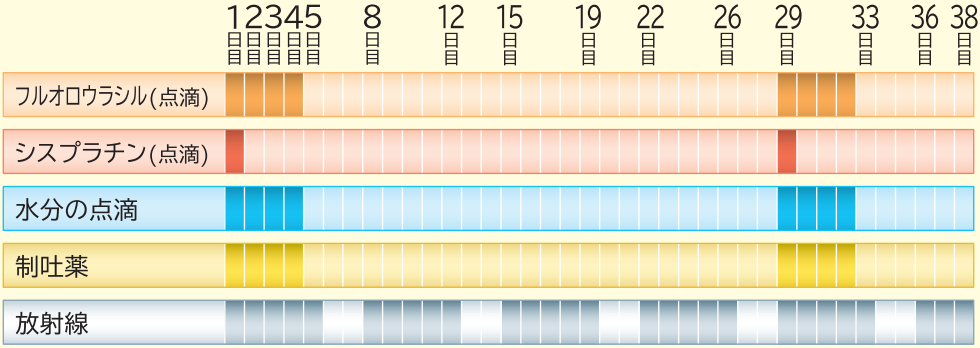
スケジュール 35日を1コースとして、2コース目からこの投与方法を繰り返します。

治療スケジュール

■FP療法

食道がん、子宮頸がん、頭頸部がんにおいて化学療法のみで使用したり、放射線療法と組み合わせたりする治療法です。特に食道がん、頭頸部がんで、病巣が限局している場合には同時に放射線療法を併用します。また、食道がんでは手術の前・後に使うことがあります。FP療法（フルオロウラシルとシスプラチンの2剤併用）の他に、がんを小さくして、手術でがんを取りやすくするために行う術前DCF療法（ドセタキセルを加えた3剤併用）は食道がんの標準的な治療法の一つです。※





点滴投与時間
フルオロウラシル（F）…腕の静脈から、24時間持続して点滴します。
シスプラチン（P）……腕の静脈から、約2時間かけて点滴します。

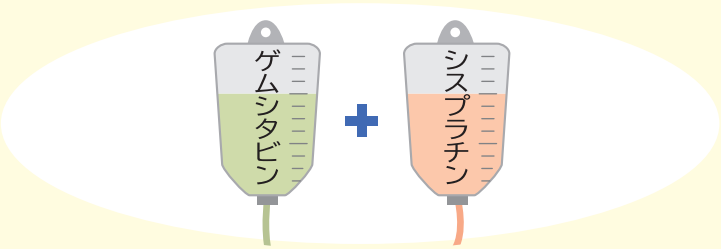
スケジュール
化学療法は28日を1コースとして、2コース目からこの投与方法を繰り返します。
化学療法は4コースを目標に行います。

※FP療法と術前DCF療法は、治療スケジュールが異なります。

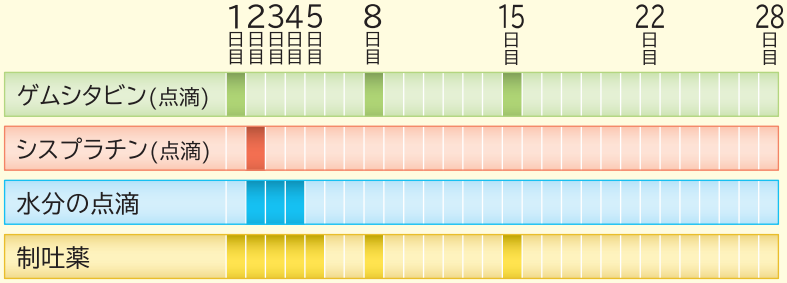
治療スケジュール

■GC療法

がんの種類などにより、投与方法が異なります。



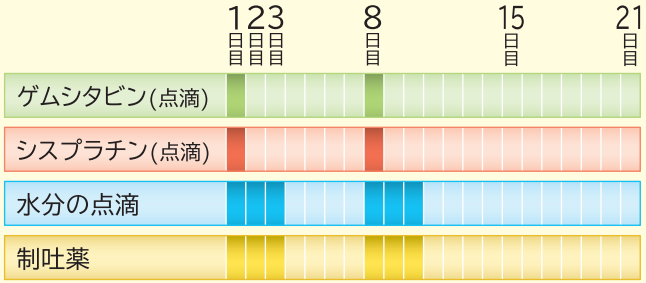
胆管がん、膀胱がん、尿管がんの標準的な治療法のひとつです。



点滴投与時間　ゲムシタビン（G）…… 腕の静脈から、約30分かけて点滴します。
シスプラチン（C）…… 腕の静脈から、約2時間かけて点滴します。

スケジュール　28日を1コースとして、2コース目からこの投与方法を繰り返します。

胆道・胆のうがんの標準的な治療法のひとつです。



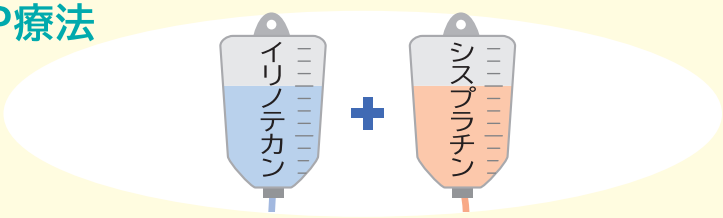
点滴投与時間　ゲムシタビン（G）…… 腕の静脈から、約30分かけて点滴します。
シスプラチン（C）…… 腕の静脈から、約1時間かけて点滴します。
デュルバルマブもしくはペムブロリズマブを併用する場合もあります。

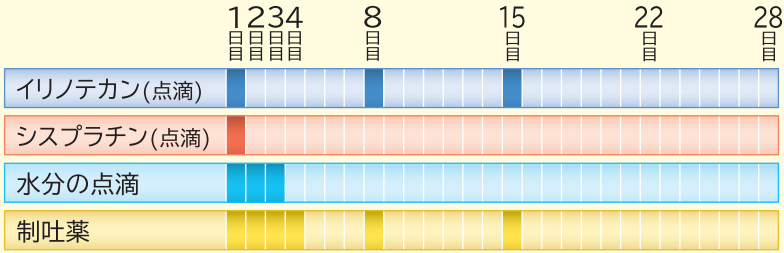
スケジュール　21日を1コースとして、2コース目からこの投与方法を繰り返します。

治療スケジュール

小細胞肺がんのわが国での標準的な治療法のひとつです。

■IP療法

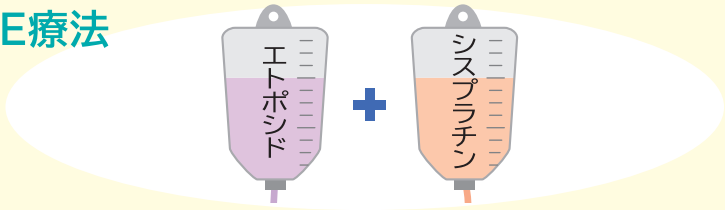


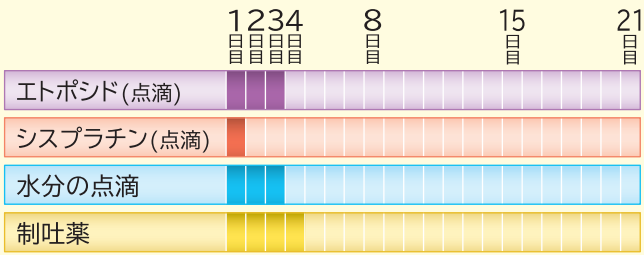


点滴投与時間 イリノテカン（I）……腕の静脈から、約90分かけて点滴します。
シスプラチン（P）……腕の静脈から、30分～60分かけて点滴します。

スケジュール 28日を1コースとして、2コース目からこの投与方法を繰り返します。
4コースを目標に行います。

■CE療法





点滴投与時間 エトポシド（E）……腕の静脈から、約60分かけて点滴します。
シスプラチン（C）……腕の静脈から、約120分かけて点滴します。

スケジュール 21日を1コースとして、2コース目からこの投与方法を繰り返します。
4コースを目標に行います。

シスプラチンの治療を安全に受けるために

シスプラチンによる治療を開始する前には、十分な検査や診察が行われますが、患者さん自身からも、以下にあてはまる場合には主治医に伝えてください。

- ☐ 以前に、他の白金製剤（カルボプラチン、オキサリプラチン、ネダプラチン）でアレルギー反応がおこった方。また、他のお薬や注射の治療を受けて、発疹やかゆみなどが出たことがある方、気分が悪くなったことがある方。
- ☐ 現在、医師の処方するお薬や、薬局で買ったお薬、漢方薬、健康食品などを飲んでいる方。
- ☐ 放射線治療を受けている方。
- ☐ 現在、風邪をひいている方。
- ☐ 現在、帯状疱疹にかかっている方。
- ☐ 糖尿病の方。
- ☐ 過去に腎臓の病気にかかったことがある方、現在腎臓に病気をもっている方。
- ☐ 過去に肝臓の病気にかかったことがある方、現在肝臓に病気をもっている方。
- ☐ 耳が聞こえにくくなっていたり、耳鳴りがする方。
- ☐ 妊娠を希望している方。
- ☐ 妊娠、または妊娠している可能性のある方。（お腹の赤ちゃんに影響があります。）
- ☐ パートナーが妊娠する可能性のある男性。
- ☐ 現在、授乳中の方。（乳児に影響があります。）
- ☐ 手足のしびれがある方。

点滴注射を受けているときに気をつけること

- 点滴薬が血管の外に漏れて皮膚につくと、はれたり、赤くなったり、痛くなってきたりすることがあります。**点滴中は**できるだけ**安静に**していてください。



- 万一、**お薬が漏れて皮膚についたとき**には、ただちに医師や看護師にお伝えください。速やかに拭き取り、せっけんでよく洗い流すなど適切な処置を行います。



- 点滴の**注射針を刺したところ**が、硬くなったり、痛くなったり、腫れてきたり、熱い感じがしたり、かゆみなどの違和感があらわれた場合には、ただちに医師や看護師にお伝えください。



- 点滴の途中で腰痛、息苦しさ、かゆみや、吐き気を感じたり、**気分が悪くなった場合**には、ただちに医師や看護師に申し出てください。



副作用と発現しやすい時期

すべての患者さんに副作用があらわれるとは限りません。また、個人によっても副作用の症状や程度は異なります。あらかじめ副作用を知っておくことで、適切な対応が早くできますので、症状の悪化を防ぐことができます。



当日（点滴中）

- 過敏症
  （シスプラチンの点滴を初めて受けた時にあらわれる場合と、何回か繰り返し投与された後に起こる場合があります）

当日（投与直後～数日）

- はき気・おう吐、食欲不振
- 腎障害
- 肝障害
- しゃっくり（吃逆）

数日～数週間

- 全身倦怠感
- 口内炎
- 骨髄抑制（感染症、貧血、出血）
- 下痢
- 耳鳴り・難聴
- 手足のしびれ

数週間～数カ月

- 脱毛
- アレルギー反応

比較的みられやすい副作用とその対応策

シスプラチンの単独・併用療法を行ったときの「腎機能障害」「はき気・おう吐」「下痢」の3種類は副作用を関連づけて考えて見ます。

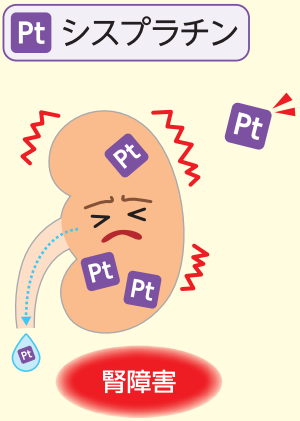
腎機能障害

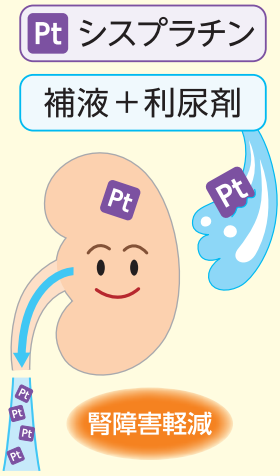
腎臓の働きが悪くなり、からだの中の捨てなければならないものや余分な水分が、血液の中にたまってしまう状態のことです。

投与されたシスプラチンの一部が腎臓に接触することで腎障害が生じます。

シスプラチンと腎臓の接触を減らすために、すみやかに排泄させる必要があります。

そのため、シスプラチン投与時には、尿量を増やすために補液や利尿剤を用います。





※イラストはイメージです。

比較的みられやすい副作用とその対応策

腎機能障害

- 腎障害を回避するために、補液や利尿薬などを使用します。
- シスプラチン投与にあたり、水分バランスの管理が重要です。主治医の指示どおり飲水してください。主治医が点滴補液の量を決めて治療をおこないます。
- 治療中は、尿量（または尿回数）・体重・摂取した水分量などの測定をおこなうことがあります。
- シスプラチン投与によるはき気・おう吐を抑える治療（制吐療法）と合わせておこないます。

シスプラチン投与終了後、数日間は食欲不振など消化器の不調があらわれることがあります。水も飲めないなど、脱水状態がつづきますと、腎臓の働きも低下します。このような症状があらわれた場合は、すぐに主治医を受診してください。

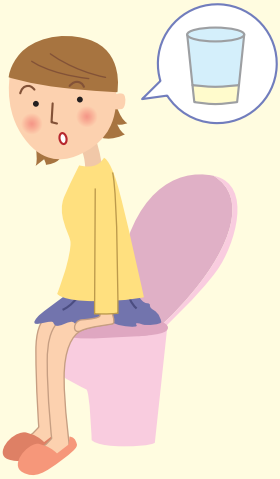
日常生活のワンポイントアドバイス

- 日常生活でも、普段通りの水分摂取が大切です。

比較的みられやすい副作用とその対応策

腎機能障害

- 尿の量が極端に少ない。



- 手や足がむくむ。



このような症状があらわれた場合は
すぐに主治医を受診してください

比較的みられやすい副作用とその対応策

はき気・おう吐

点滴後数時間以内に起こってきます。
更に数日続く場合もあります。

シスプラチンを含む治療スケジュールで使用される制吐薬の投与例です。

●制吐薬（せいとやく）の投与法

	1日目	2日目	3日目	4日目
5-HT3受容体拮抗薬（点滴）				
デキサメタゾン （経口）	（点滴）	④ ④	④ ④	④ ④
アプレピタント （経口） または ホスアプレピタント（点滴）	125	80	80	
オランザピン （経口）	⑤	⑤	⑤	⑤

④ デキサメタゾン錠4mg 1錠（デキサメタゾン錠0.5mgの場合8錠）
⑤ 患者さまの症状に応じて、服用するかどうか判断されます。

併用する他の抗がん剤やがんの種類などによりスケジュールが変更になる場合があります。

こんな時には医療スタッフに連絡をください。

- 食欲不振、はき気、おう吐が続き水も飲めない。



- 長期にわたってはき気が続く。



- 処方されたはき気止めが、おう吐のために服薬できない。



※脱水状態が続きますと、腎臓の働きも低下します。

比較的みられやすい副作用とその対応策

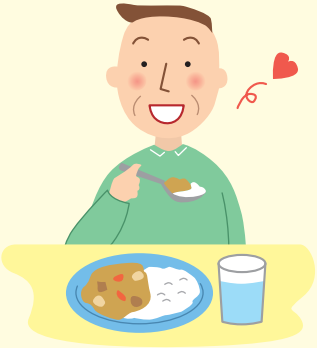
はき気・おう吐

日常生活の ワンポイント アドバイス

- 不快に感じる臭いのするものを近づけないようにしましょう。



- 食べたいものを、食べたい時に食べたい分だけ食べるようにしましょう。



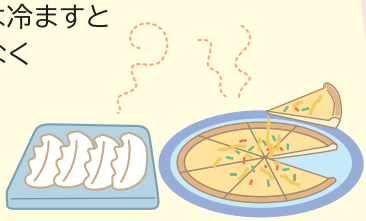
- 脂っこいものや消化の悪いものはなるべく避け、消化の良いものを食べましょう。



- 夕食は軽めにしましょう。



- 熱いものは冷ますと臭いが少なくなります。



比較的みられやすい副作用とその対応策

下痢

シスプラチン単剤での治療法の場合は稀ですが、併用療法を行った場合には注意が必要になることもあります。

こんな時には医療スタッフに連絡をください。

- 便が泥状か、完全に水のようになっている。



- トイレから離れられないほど、頻回に下痢をする。



- さしこむような激しい腹痛がある。



1日5回以上の水のような下痢がある場合にはすぐに主治医に連絡してください。

日常生活のワンポイントアドバイス

下痢のときに避けたい食品

- 乳製品



- 香辛料



- アルコール



- 高繊維、高脂質の食べ物



- コーヒー



- オレンジジュース、グレープフルーツジュース



その他の副作用：骨髄抑制

抗がん剤治療により、血液をつくる骨髄のはたらきが抑えられると、赤血球、白血球、血小板などが減少して、さまざまな好ましくない症状がでることがあります。

骨髄抑制の副作用は、自分で気付きにくいため、定期的に血液検査を行います。指示された検査は必ず受けるようにしてください。

赤血球減少（貧血）

治療の回数が重なると赤血球が少なくなり、貧血が起こることがあります。

こんな時には医療スタッフに連絡をください。

- 少し動いただけで動悸、息切れがする。
- めまい、立ちくらみがする。
- 手足が冷える。



日常生活のワンポイントアドバイス

- 無理をせず、こまめに休むようにしましょう。
- 手足が冷たい場合は保温するよう心がけましょう。

その他の副作用：骨髄抑制

白血球減少

白血球は、体を病原菌から守り、感染症を防ぐ働きがあります。白血球が少なくなると、体の抵抗力が弱まり、かぜや肺炎などにかかりやすくなります。これまで他の抗がん剤を投与してきた場合やシスプラチンと他の抗がん剤を併用する場合、白血球減少の症状が出やすくなる場合があります。

こんな時には医療スタッフに連絡をください。



- 38.0℃以上の発熱がある。
- さむけや悪寒がする。
- せきが出たり、のどに痛みを感じる。
- 体がだるく、ふしぶしが痛む。
- 尿のにごり、排尿時の痛み、残尿感がある。

日常生活のワンポイントアドバイス

- 食事の前や排泄の前後、外出後は丁寧に手洗い、うがいをしましょう。
- シャワー、入浴などで体を清潔に保ちましょう。

血小板減少（出血）

血小板が少なくなると出血しやすくなります。

こんな時には医療スタッフに連絡をください。



- 少しのことで出血したりあざ（内出血）ができる。
- 鼻出血や歯肉出血がおこる。

日常生活のワンポイントアドバイス

- けがをしないように注意しましょう。
- やわらかい歯ブラシを使用して、歯ぐきを傷つけないようにしましょう。

こんな症状があるときは我慢しないで連絡を

治療後数日～数週間であらわれることのある症状

- ☐ 尿の量が極端に少ない。 
- ☐ 排泄時に痛みがある。 
- ☐ 下痢がひどくてつらい。 
- ☐ 音が聞こえづらい。 
- ☐ 耳鳴りがする。 
- ☐ 熱がある。 
- ☐ さむけや発熱がある。 
- ☐ のどが痛い。 
- ☐ むくみがある。 
- ☐ 体重が急にふえる。 
- ☐ 息切れがする。 
- ☐ せきが出る。 
- ☐ はき気やおう吐がひどくて飲食ができない。 
- ☐ 手足がしびれて生活が不自由である。 

治療日記とメモの記載

がん治療中の患者さんや、その家族の方にとっては、さまざまな不安や心配がわきあがる場合もあります。

気持ちが落ち着かずにつらい



夜眠れなくて困る



仕事が手につかない



家族に心配をかけたくないのに明るく振る舞うことができない



こんなにつらくては抗がん剤治療を続けることができないのではないかと心配



治療日記とメモの記載

こうしたことを乗り越えるために、

「気になること」
「聞きたいこと」
「疑問に思うこと」
「伝えたいこと」など

医療スタッフと相談しながら、日常生活でのアドバイスをうまく取り入れ、よりよい治療を続けることが大切です。

からだに違和感があるときには、日付と症状をメモして医療スタッフに相談しましょう。



記入のしかた

【記入例】

治療開始からの日数		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
月　日 曜　日		3月5日 月曜日	3月6日 火曜日	3月7日 水曜日	3月8日 木曜日	3月9日 金曜日	3月10 土曜
薬の投薬	シスプラチン	↓					
	●●●●	↓					
	▲▲▲	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	■■■■	✓	✓	✓			
体温（℃）		37.6℃	37.3℃	36.5℃	36.6℃	37.3℃	37.0℃
食事量		◎	△	○	△	○	○
		◎通常　○やや少ない　△少ない　×食べられ					
疲労感・倦怠感		有 (無)	(有) 無	(有) 無	有 (無)	有 (無)	(有) 無
さむけ		有 (無)	有 (無)	有 (無)	有 (無)	有 (無)	有 (無
のどが痛い		有 (無)	有 (無)	有 (無)	有 (無)	有 (無)	有 (無
はき気		有 (無)	(有) 無	(有) 無	(有) 無	有 (無)	有 (無
下　痢		有 (無)	(有) 無	有 (無)	有 (無)	有 (無)	有 (無
音が聞きづらい		有 (無)	有 (無)	有 (無)	有 (無)	有 (無)	有 (無
耳鳴り		有 (無)	有 (無)	有 (無)	有 (無)	有 (無)	有 (無)
尿（回数）		5回	6回	5回	3回	3回	3回
メモ： 医師に伝えたいこと 聞きたいこと 気になること			あまり眠れなかった。	体がおもい。		少し熱っぽい	

該当したら○をつけます。

気になることや、主治医に伝えたいことを書いておきます。

治療開始からの日数		日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
月　日 曜　日		月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日
薬の投薬	シスプラチン							
体温（℃）		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
食事量								
		◎通常　○やや少ない　△少ない　×食べられない						
疲労感・倦怠感		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
さむけ		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
のどが痛い		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
はき気		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
下　痢		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
音が聞きづらい		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
耳鳴り		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
尿（回数）		回	回	回	回	回	回	回
メモ： 医師に伝えたいこと 聞きたいこと 気になること								

治療開始からの日数		日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
月　日 曜　日		月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日
薬の投薬	シスプラチン							
体温（℃）		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
食事量								
		◎通常　○やや少ない　△少ない　×食べられない						
疲労感・倦怠感		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
さむけ		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
のどが痛い		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
はき気		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
下　痢		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
音が聞きづらい		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
耳鳴り		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
尿（回数）		回	回	回	回	回	回	回
メモ： 医師に伝えたいこと 聞きたいこと 気になること								

治療開始からの日数		日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
月　日 曜　日		月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日
薬の投薬	シスプラチン							
体温（℃）		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
食事量								
		◎通常　○やや少ない　△少ない　×食べられない						
疲労感・倦怠感		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
さむけ		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
のどが痛い		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
はき気		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
下　痢		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
音が聞きづらい		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
耳鳴り		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
尿（回数）		回	回	回	回	回	回	回
メモ： 医師に伝えたいこと 聞きたいこと 気になること								

治療開始からの日数		日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
月　日 曜　日		月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日
薬の投薬	シスプラチン							
体温（℃）		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
食事量								
		◎通常　○やや少ない　△少ない　×食べられない						
疲労感・倦怠感		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
さむけ		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
のどが痛い		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
はき気		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
下　痢		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
音が聞きづらい		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
耳鳴り		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
尿（回数）		回	回	回	回	回	回	回
メモ： 医師に伝えたいこと 聞きたいこと 気になること								

治療開始からの日数	日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
月　日 曜　日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日
薬の投薬 シスプラチン							
薬の投薬							
薬の投薬							
薬の投薬							
体温（℃）	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
食事量							
	◎通常　○やや少ない　△少ない　×食べられない						
疲労感・倦怠感	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
さむけ	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
のどが痛い	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
はき気	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
下　痢	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
音が聞きづらい	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
耳鳴り	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
尿（回数）	回	回	回	回	回	回	回
メモ： 医師に伝えたいこと 聞きたいこと 気になること							

治療開始からの日数		日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
月　日 曜　日		月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日
薬の投薬	シスプラチン							
体温（℃）		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
食事量								
		◎通常　○やや少ない　△少ない　×食べられない						
疲労感・倦怠感		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
さむけ		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
のどが痛い		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
はき気		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
下　痢		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
音が聞きづらい		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
耳鳴り		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
尿（回数）		回	回	回	回	回	回	回
メモ： 医師に伝えたいこと 聞きたいこと 気になること								

治療開始からの日数		日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
月　日 曜　日		月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日
薬の投薬	シスプラチン							
体温（℃）		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
食事量								
		◎通常　○やや少ない　△少ない　×食べられない						
疲労感・倦怠感		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
さむけ		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
のどが痛い		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
はき気		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
下　痢		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
音が聞きづらい		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
耳鳴り		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
尿（回数）		回	回	回	回	回	回	回
メモ： 医師に伝えたいこと 聞きたいこと 気になること								

治療開始からの日数		日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
月　日 曜　日		月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日
薬の投薬	シスプラチン							
体温（℃）		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
食事量								
		◎通常　○やや少ない　△少ない　×食べられない						
疲労感・倦怠感		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
さむけ		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
のどが痛い		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
はき気		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
下　痢		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
音が聞きづらい		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
耳鳴り		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
尿（回数）		回	回	回	回	回	回	回
メモ： 医師に伝えたいこと 聞きたいこと 気になること								

治療開始からの日数		日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
月　日 曜　日		月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日
薬の投薬	シスプラチン							
体温（℃）		℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
食事量								
		◎通常　○やや少ない　△少ない　×食べられない						
疲労感・倦怠感		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
さむけ		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
のどが痛い		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
はき気		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
下　痢		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
音が聞きづらい		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
耳鳴り		有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
尿（回数）		回	回	回	回	回	回	回
メモ： 医師に伝えたいこと 聞きたいこと 気になること								

治療開始からの日数	日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
月　日 曜　日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日	月　日 曜日
薬の投薬 シスプラチン							
薬の投薬							
薬の投薬							
薬の投薬							
体温（℃）	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
食事量							
	◎通常　○やや少ない　△少ない　×食べられない						
疲労感・倦怠感	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
さむけ	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
のどが痛い	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
はき気	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
下　痢	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
音が聞きづらい	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
耳鳴り	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無	有　無
尿（回数）	回	回	回	回	回	回	回
メモ： 医師に伝えたいこと 聞きたいこと 気になること							



監修
洛和会音羽病院 腫瘍内科 シニアドクター
外来治療センター センター長
昭和医科大学医学部 内科学講座 腫瘍内科学部門 客員教授
佐々木 康綱先生

医療機関名

日医工株式会社
NICHI-IKO

2026年9月作成　N202600155